

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 (9)	その人らしい暮らしを支える一助として、生活支援がマンネリ化しないよう、常に本人の視点に立ち、関心を寄せ、さらなる思いや意向の把握をする。	主体は入居者であることを再度確認、本人の思いをくみ取りながら、日常生活自体がリハビリになるように支援する。	家事全般(料理や掃除など)を入居者自身で行えるように支援する。 個別の対話など多く持ち、一人一人の思いを知る。またそのことにより趣味など見つけ出し行えるよう支援する。	6 か月
2	35 (13)	他の地域では台風による停電が深刻化である。それを踏まえ、マニュアルの見直しと共に、地域や家族と連携した災害対策が行えるようにする。	あらゆる災害に対応できるよう、マニュアルの見直しをし、職員・地域・家族への連絡方法・役割の確認、徹底する。	会議等で連絡方法や役割等を話し合う。また連絡網を作成する。 推進会議等で地域の方やご家族と災害について話し合いをしたり、災害の訓練を行う。	6 か月
					か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。  
 注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。